



砂防ボランティア通信

☆ごあいさつ

新年あけまして、おめでとうございます。

昨年も世界各地でのテロ事件や相変わらずの不況に明け暮れた感じですが、幸い土砂災害については、日本では災害発生件数が約500件という状態で、比較的平穏な年でありました。しかし、世界的にはドイツのエルベ川の増水でドレスデン歴史地区の一部と宮殿が浸水のため5万人が避難し、チェコのブラハでは8月の豪雨によって住民5万人が避難し、又、韓国では8月30日～9月1日で東海岸沿いの江陵で、時間雨量100mm、日雨量870mmを記録し死者・行方不明者184名を出すなど各地で災害が発生し、気象変化の激しい年でした。

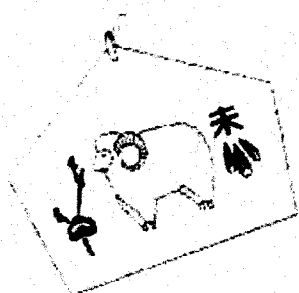
本年6月から始めました緊急雇用事業による危険箇所の点検作業も順調に進んでおり、総数360ヶ所のうち12月末迄に271ヶ所の調査を終え、進捗率75%に達しました。この事業に合わせて、現地住民にポスターを配布しての土砂災害防止の啓発活動も着実に進んでおります。

その他の事業についても、後半期では11月1日には西除川地すべり・狭山池ダム等の現地見学会を実施しました。今後の行事予定としては、近畿地区合同講習会（本紙別途案内）を開催いたします。その時には、皆様方が多数ご参加下さることを期待しております。

NPO法人化につきましては、ここ数年の懸案事項で何回か検討した経過はありましたが、来年度こそは是非ともNPO法人化を立ち上げてボランティア活動を展開して行きたいとの意気込みで、10月になって今回の検討に入りました。数回に亘る検討会及び2回の準備会での審議を経て、11月20日設立総会を開催し出席会員全員の賛同を得て、11月22日NPO法人化申請を大阪府に提出した次第であります。

ボランティア登録会員の皆様には、後日別便にてNPO法人のご案内をさしあげ、その趣旨にご賛同の方には会員（正会員・賛助会員）として入会して頂くことにしておりますので、その節にはよろしくお願い申し上げます。

今の予定では、3月末頃にはNPO法人に認証されますので、15年度からは新たな気持ちで大阪府下の土砂災害防止に資するという社会的使命を持って、諸活動を実施して参りたいと思いますので、なお一層のご協力をお願い致します。



大阪府砂防ボランティア協会
会長 松村 治

☆NPO法人への動き

大阪府砂防ボランティア協会のNPO法人化に向けての動きは、平成12年8月21日に第1回NPO法人化準備会を開催したことが正式なスタートと認識しております。

当時は、砂防ボランティア協会の今後のありかたを懸念し、また全国砂防ボランティア協会組織を考えた全国的な見地から、法人化を真剣に考えられて、ダム砂防課と協議しながら、いろいろと準備を進めておりました。

約1年後の平成13年8月から本格的に幹事会レベルで法人化に向けた動きが活発化しました。その時はダム砂防課から危険箇所の調査を受託し、事務所および事務局員の費用を捻出しようとするのが骨子となっておりました。

その検討の途上で、平成14年度緊急雇用対策事業による斜面点検業務の予算が確保されたことを受けて、この事業にどのように取り組むかの議論が本格化しました。

2月21日に臨時総会を開催し、事業への取り組みとこれに協力していただける会員の確認がなされ、この場で多くの賛同を得て、大事な第一歩が踏み出せました。

この後、具体的な調査案の作成等にかかりましたが、年度末から年度当初にかけて、事務所問題、契約上の問題、事務局職員の問題等について、いろいろと難題が生じ、NPO法人化の問題は先送りになりましたが、5月15日の総会で、協会の新体制、緊急雇用対策事業による斜面点検業務の実施等が議決され正式にスタートすることとなりました。

当協会の主たる活動である土砂災害危険箇所のパトロールの対象は、大阪府下で、約1,800箇所もあります。

これらの多くの箇所の点検を行うためには、われわれの活動を継続して行うことが必要であります。さらに、今回のように行政からの業務の依頼に対しても、継続性のある運営としっかりした組織基盤が確立されていれば業務の受託も行いやすくなります。

次年度以降の緊急雇用対策事業の受託を円滑に進めるため、また当協会の活動をより広範囲に取り組む可能性を確保するためにNPO法人にしようという考えは、強く持ち続けておりました。

法人化に向けての具体的な作業については、協会内にすでに設置してあった部会の一つである総務部会を、設立準備会という位置付けとし、その中で各種検討を進めてまいりました。

設立準備会は、10月後半に第1回を開催し、その後11月はじめの第2回目と議論を重ね、法人化の骨格が定まったところです。

大阪府ダム砂防課には、わが協会の法人化に向けて、定款の作成をはじめ、事務的な作業について全面的に協力していただきました。

おかげをもちまして、11月20日の法人設立総会を無事おえることができ、翌々日には設立認証の申請書を提出することができました。

これにより、年度末の3月下旬ころには、認証、登記完了の見通しがつきました。

なお、設立総会と同時に、臨時総会も開催し、その中で現行の任意団体は3月末で解散し、新しいNPO法人へ移行することについても議決されました。

☆近畿ブロック土砂災害に関する講習会のご案内

- 当 番 幹 事 奈良県砂防ボランティア協会
- 日 時 平成15年2月6日(木) 午後1時00分
- 場 所 大阪市福島区吉野4丁目29-20 大阪NPOプラザ内
- 参 加 費 1000円(テキスト代)
- 申込先・受付期間 大阪府砂防ボランティア協会事務局 TEL・FAX06-6464-1010
平成15年1月24日(金)まで

●講師並びに講演次第(案)

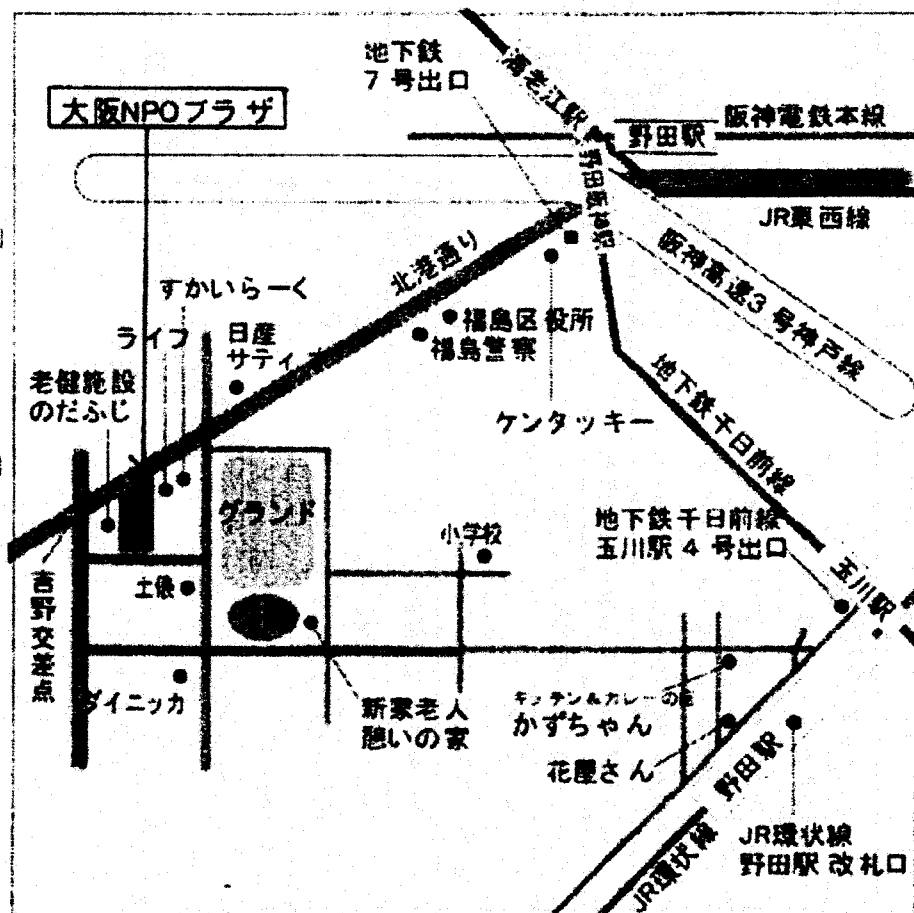
- ・開会挨拶(10分): 奈良県砂防ボランティア協会
横井 巧
- ・講演(40分): ボランティア・NPO活動について
NPO法人 奈良NPOセンター
理事長 仲川 順子
- ・講義(40分): 地震に伴って発生する土砂災害とその危険箇所
京都大学教授 水山 高久
- ・危険箇所の判定(30分): 奈良県砂防課員による解説
- ・砂防ボランティア協会からの活動報告(全国)(10分): 砂防ボランティア内
にある全国事務局からの報告(予定 森部長)
- ・砂防ボランティア協会からの活動報告(開催県)(10分): 奈良県砂防ボラン
ティア協会からの報告
- ・閉会挨拶(10分): 奈良県砂防ボランティア協会事務局長

ルート1: 阪神線「野田」

JR 東西線「海老江」
地下鉄千日前線「野田駅」
各駅から約800m

ルート2: JR「野田」

地下鉄千日前線「玉川」
各駅から約600m



新年度の4月1日からは、現在の任意団体大阪府砂防ボランティア協会は、特定非営利活動法人大阪府砂防ボランティア協会として生まれ変わり、あらたな一歩を踏み出すこととなります。

これもひとえにダム砂防課をはじめ関係各位のご指導、ご協力のたまものと厚く感謝申し上げますとともに、われわれ協会員もその名に恥じないような活動をしなければならないと思いを新たにしている次第です。

大阪府砂防ボランティア協会
副会長 安藤 雅成

*** 西除川地すべり地区及び狭山池ダムの「現地見学会」開催 ***

平成14年11月1日(金)に大阪府富田林土木事務所松原建設事務所の協力を得て既に施行された西除川地すべり地区の対策工事及び狭山池ダムの現地見学会を開催いたしました。

当日は22名の参加者があり、まず1級河川西除川の改修工事と合わせて施工された西除川地すべり地域の対策工事現場を見学しました。工事担当事務所から地すべり地域の怖さとその対策工事について概要説明を受けました。次いでその上流側にある狭山池ダムに移動し、狭山池管理事務所から狭山池の多目的な大改修事業について、その経緯と工事概要の説明を受け堤体等を見学しました。そして最後に、同狭山池ダム建設に際して調査され又発掘された多くの遺跡、遺構築を展示保存する博物館(狭山池ダムに隣接して建設されている)を見学しました。参加者の方からは、日頃見ることの出来ない大変貴重ないいものを見ることができたと感激の声が聞かれました。



狭山池ダム付近



西除川